

地方統計職員研修

県統計課 上澤光男

県統計課は、地方統計職員業務研修（基礎、専門）を行政管理局と共催して、毎年、実施しています。そのほか、統計主事の資格付与のための講習会と統計実務講習会を隔年実施しています。

どのような職場においても、そこに働く人々の専門的な能力、技能の増進を図る必要から、多種多様の研修が実施されています。

地方統計機関に働く統計職員の人達も、そのような研修の必要性を全く否定しざる人はまずいないでしょう。

では、地方統計職員、とくに市町村の統計職員には、どのような研修が必要でしょうか。

この研修も、一種の職場研修にほかならないから、その目的とするところは、「統計職員が、その要求される業務を果たしていく上に必要な専門的スキルを増進させること。」にあるといえるでしょう。

従って、それはあくまでも、「市町村統計職員の業務に直結したもの。」であり、「その業務の中で有効に生かされてゆく性格のもの。」でなければならないでしょう。

このように、研修の基本的性格を規定した場合、次の二つの面が考えられると思います。

- 体系的な基礎知識を与える面
- その具体的な応用を図る面

業務研修は、どちらかといえば後者の性格が強く、統計主事の資格付与のための講習会は、前者の性格が濃いといえるでしょう。この両面は、地方統計職員の研修には、いずれも必要とされるものであり、今後は、両面を

「立体的に結合させた研修体系」が新たな角度から改めて考えられるべきだと思います。

受講生に、研修を受けようとする気持があっても、研修の方法が適切さを欠いていれば、その気を失なわせるだけでなく、研修に対する強い不信と反発を招くこととなります。

受講生を、ただ、講義をきくだけの「第三者的存在」に終らせてはいけないと思います。受講生のうちにある問題意識ないしは疑問を引き出し、それを皆で解決する方向に進んでいくことが大切だと思います。

講義方式とともに、討議実習、実演などの諸方式を有効に取り入れることが必要だと思います。

私が、過去2年間、上述の業務研修の講師をやりながら、研修の性格、方法等について考えていたことの一部を述べてみました。

最近、各種研修会、講習会への出席者が減少していくことにかんがみ、実施者側の何らかの対策が必要ではないかと感じるのは、あながち私一人ではないでしょう。



統計グラフの種類

統計グラフの作り方(2)

統計グラフは、「目でみる統計」とも言われ、さまざまな図形を駆使して作成される。その分類には各種の分類基準がある。普通用いられている分類基準には、(1)利用目的 (2)利用場所、場合 (3)比較方法 (4)図形などがある。

利用目的による分類には、①解説用統計グラフ ②分析用統計グラフ ③計算用統計グラフなどがあるが、この分類は明確な区分ではなく、その目的の重心点の置き方によって変わるものである。

利用場所、場合によって分類すると、①展示用統計グラフ ②事務、管理用統計グラフ ③講義用統計グラフ ④出版用統計グラフ ⑤スライド用統計グラフなどがある。

比較方法による分類には、①長さによる統計グラフ ②面積・体積による統計グラフ ③時間的変化による統計グラフがある。

また、図形によって大きく分類すれば、次のようになる。

- ①単位グラフ ②面積グラフ ③体積グラフ
- ④棒グラフ ⑤線グラフ ⑥コスモグラフ
- ⑦円グラフ ⑧帯グラフ ⑨三角グラフ
- ⑩度数分布グラフ ⑪相関グラフ ⑫統計地図
- ⑬絵グラフ など

来月からは、図形による分類にしたがって、これらの各グラフについてもう少し具体的に触れてみたい。

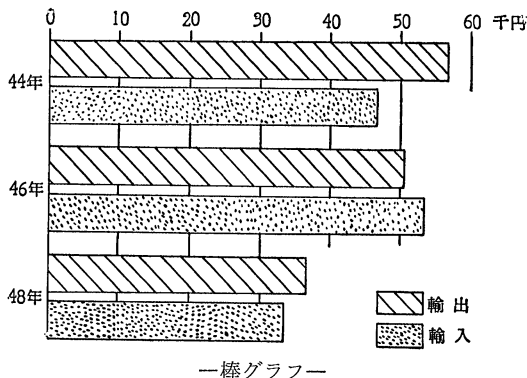
(参考) 新しい統計グラフの作り方

県統計課 伊藤 宰

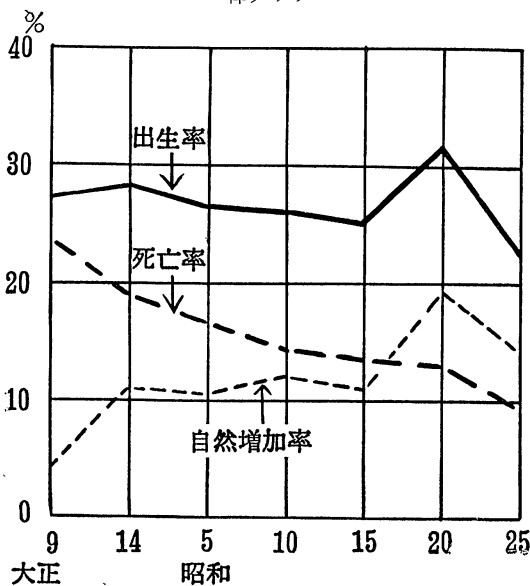
友安亮一 第一法規

統計グラフ作成の手引

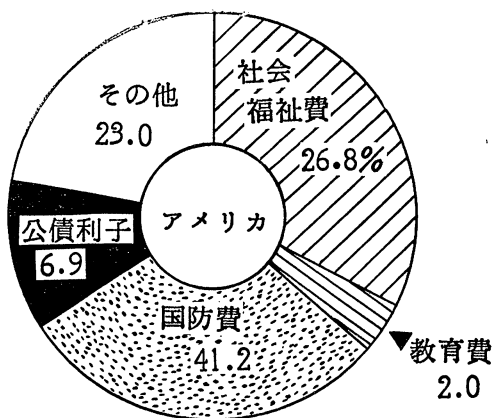
小野正明 全国統計協会連合会



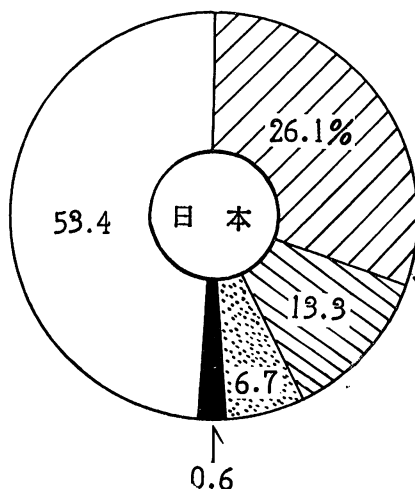
棒グラフ



線グラフ



円グラフ



新 着 資 料 案 内

下記の資料は、3月中に行政資料室に到着した主なものです。このほか、年鑑・年報・月報 各種計画書・報

告書・法令・教養・参考書・雑誌など数多くきておりますので御利用下さい。

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
中央官公庁関係				
昭和48年 住宅統計調査報告 北海道	48	B5	59	総理府統計局
〃 〃 神奈川県	〃	〃	61	〃
〃 〃 静岡県	〃	〃	59	〃
〃 〃 滋賀県	〃	〃	59	〃
〃 〃 京都府	〃	〃	59	〃
〃 〃 兵庫県	〃	〃	61	〃
〃 〃 奈良県	〃	〃	59	〃
〃 〃 和歌山県	〃	〃	59	〃
〃 〃 愛媛県	〃	〃	59	〃
〃 〃 高知県	〃	〃	59	〃
〃 小売物価統計調査年報	〃	〃	471	〃
〃 東京郵政局統計年報	〃	〃	107	東京郵政局管理課
昭和48～49年 茨城農林水産統計年報	48～49	〃	274	茨城統計情報事務所
日本経済指標(月)	50.2	〃	80	経済企画庁調査局
経 済 月 報	〃	〃	73	〃
海 外 経 済 月 報	〃	〃	111	〃
地 方 公 務 員 月 報	〃	A5	64	自治省公務員第一課
茨城県関係				
中小企業の賃金事情	49	B5	85	労 政 課
生産近代化計画書	48	〃	61	農 産 園 芸 課
昭和48年度 茨城県 蚕業試験場年報	〃	〃	62	茨城県蚕業試験場
昭和48年度 肥料流通調査報告	〃	〃	57	茨城県肥飼料検査所
昭和49年度 全国道路交通情勢調査成果表	49	B4	88	道 路 維 持 課
茨 城 の 文 化 財	〃	B5	65	文 化 課
県内市町村関係				
勝 田 市 史 (民俗編)	50	A5	842	勝田市史編さん委員会
か な さ ご う	〃	A4	28	金砂郷村役場
都道府県関係				
第82回 北海道統計書	48	B5	237	北海道調査統計課

行政資料名	内容年	規格		発行所(者)
		判	頁	
統計資料増加目録	49	B5	55	宮城県統計課
第89回福島県統計年鑑	48	〃	538	福島県統計調査課
昭和49年山形県の農業	49	〃	375	山形県統計課
統計(月)	50.2	〃	23	〃
昭和48年東京都統計年鑑	48	〃	515	東京都統計局
東京の物価(月)	50.2	〃	25	〃
昭和48年工業統計調査結果報告	48	〃	243	千葉県統計課
昭利49年度学校基本調査結果報告書	49	〃	91	〃
千葉メッシュ報告書	47	A4	430	〃
統計資料(月)	50.2	B5	23	〃
昭和49年栃木県消費者指数年報	49	〃	24	栃木県
経済月報	50.2	〃	37	〃
昭和49年ぐんまの商業	49	〃	223	群馬県
統計月報	50.2	〃	25	〃
昭和47年山梨県統計年鑑	47	〃	278	山梨県
昭和49年度教育統計調査結果報告	49	〃	119	〃
〃 山梨県常住人口	〃	〃	146	〃
〃 大阪の農業	〃	A4	143	大阪府
昭和48年山口県の人口	48	B5	125	山口県
昭和49年高知県の商業	49	〃	77	高知県
〃 徳島県工業名鑑	〃	〃	318	徳島県
昭和48年	〃	〃	410	〃
昭和49年愛媛県の商業	49	〃	71	愛媛県統計調査課
えひめの統計(月)	50.2	〃	95	〃
昭和49年版福岡県勢要覧	48	B6	221	福岡県調査統計課
〃 佐賀県統計年鑑	〃	B5	218	佐賀県統計調査課
会社・団体等関係				
中小企業労働事情実態調査報告書	48	B5	51	茨城県中小企業団体中央会

統計ニュース

5月の主な行事

- | | | | |
|----------|---------------------|----------|--------------------|
| ○ 1日 | 学校基本調査調査日 | ○ 20~21日 | 市町村・県情報交換会 |
| ○ 1~2日 | 市町村統計事務担当者会議 | ○ 〃 | 国勢調査ブロック会議(予定) |
| ○ 〃 | 事業所統計調査事務打合せ(第2次) | ○ 22~23日 | 統計図表講習会 |
| ○ 8~9日 | 北関東4県県民所得研究会 | ○ 27~28日 | 商業動態統計調査ブロック会議(山梨) |
| ○ 14~15日 | 北関東4県課長会議 | ○ 28日 | 法人企業投資調査課長会議 |
| ○ 〃 | 統計図表講習会 | ○ 28~29日 | 関東ブロック課長会議 |
| ○ 15日 | 事業所統計調査調査日 | ○ 31日 | 消費動向調査調査日 |
| ○ 16日 | 市町村統計主管課長会議(国調)(予定) | | |